

熊本県支部

女性のパワーを活用した観光振興に関する調査研究

1. 調査研究概要

(1) 調査目的

熊本県では、平成 23 年 3 月の九州新幹線全線開業を控え、観光産業への波及効果が大いに期待されている。

熊本県としても「ようこそくまもと観光立県推進計画」を推進しており、その計画内容として次の 4 つの戦略と、13 のプログラムが進められている。

戦略 1 歴史と文化の香り高い観光地熊本を形成する戦略

戦略 2 訪ねてよし住んでよしの熊本おもてなし戦略

戦略 3 発信力を強化し国内各地から熊本に人を招く戦略

戦略 4 外国から熊本に人を招く戦略

これらの戦略やプログラムを有効に機能させるためには、現場で活躍しておられる女性の力をフルに活用することが不可欠であると考え、(社) 中小企業診断協会熊本県支部では、女性を中心に観光産業等に関わっておられる各組織に対して活動状況の調査研究を行うこととした。

また、この調査結果から先進的な活動事例の収集や、女性が中心となって地域活動を行う際の課題の整理を行うことによって、女性が中心となって活動を行っていく際の効果的な事業推進方法や、各種支援施策の有効活用に対しての研究を行うこととした。

(2) 調査対象

調査対象及び調査方法としては、観光産業に直接的に関わって活躍している『女将の会』や、女性が中心となって事業展開を図っている NPO 組織、JA 熊本県女性組織協議会等に対してアンケート調査を行い、特に観光産業の要であり、アンケート調査結果から先進的な取り組みを図っている『女将の会』に対しては、訪問調査を行った。

2. 『女将の会』等への調査

アンケートの調査結果に基づき、先進的な取り組みを行っている『女将の会』に対して、訪問調査を行い、5 か所の先進事例について報告を行った。

(1) 黒川温泉観光旅館協同組合『女将の会』

地元農家の生産物を活用した「地産地消活動」、おもてなしの質を高める「研修活動」、各旅館の女将や従業員が同じ言葉で、同じ内容をお客様に伝えるための「情報発信活動」、黒川の環境を守るための「環境保護活動」、楠チップを使った消臭袋などの「商品開発活動」等を紹介した。

（２）阿蘇温泉観光旅館協同組合『ゆうすげ会』

地元農家などの生産物の紹介・試飲会などに参加し、各ホテル・旅館の個性ある「安心・安全」な地元の料理メニューとして提供していることや、「阿蘇温泉観光旅館協同組合」企画のツアーやイベントを積極的に案内していることを紹介した。

（３）人吉温泉女将の会『さくら会』

イベント活動として「人吉球磨はひなまつり」「母から娘へ、娘から母への便りコンクール」を紹介。

また、オリジナルグッズとして石鹸、下駄、入浴剤等の紹介。

飲食関係としては、「SL ポップー鍋」「人吉・球磨 焼酎三昧企画」を紹介した。

（４）肥後つばき会

郷土料理として馬肉を中心とした「肥後の味 桜しゃぶしゃぶ」を紹介した。

（５）玉名温泉『石菖会』

「薬草のまちづくり」を合言葉に活動している「小岱山薬草の会」の活動と、「健康」というキーワードが、薬草のまちづくりを考える薬草生産者と特徴ある名物料理はできないかと思案していた旅館側との考え方が一致し、薬草料理の開発が始まったことを紹介した。

３．提言

以上のように、各地での実践例およびアンケートでの結果においては、女性を中心となった地域活動について、さまざまな取り組み状況を確認することができた。各組織においては、その活動内容や期間により成熟度に大きな差があり、その成功要因は一概には言えない。しかしながら、現在活動中や今後活動を予定している組織に有用な共通項もある。

当研究事業では、これまでの調査を踏まえ、その検討結果を以下のとおり提案した。

（１）意識の醸成

（２）組織づくり

（３）組織の体制整備

（４）協力態勢

（５）広域連携

（６）女性による組織が成功するための４カ条

①協力態勢の構築

A.行政、他関係機関との連携、B.産学官の協力、C.家族の協力

②モチベーションとしての地域社会への貢献

③他地域との差別化（地域ブランドの構築）

④専門家等の有効活用